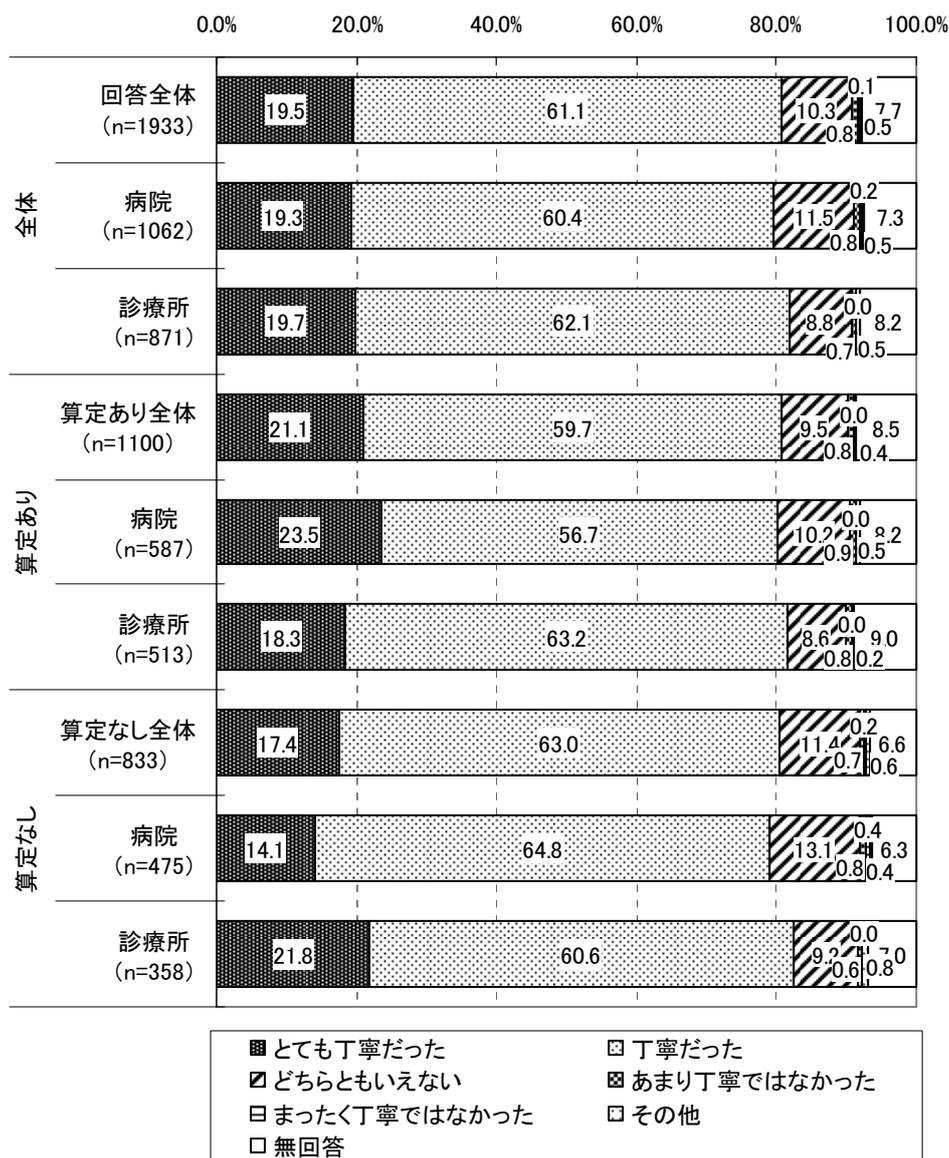
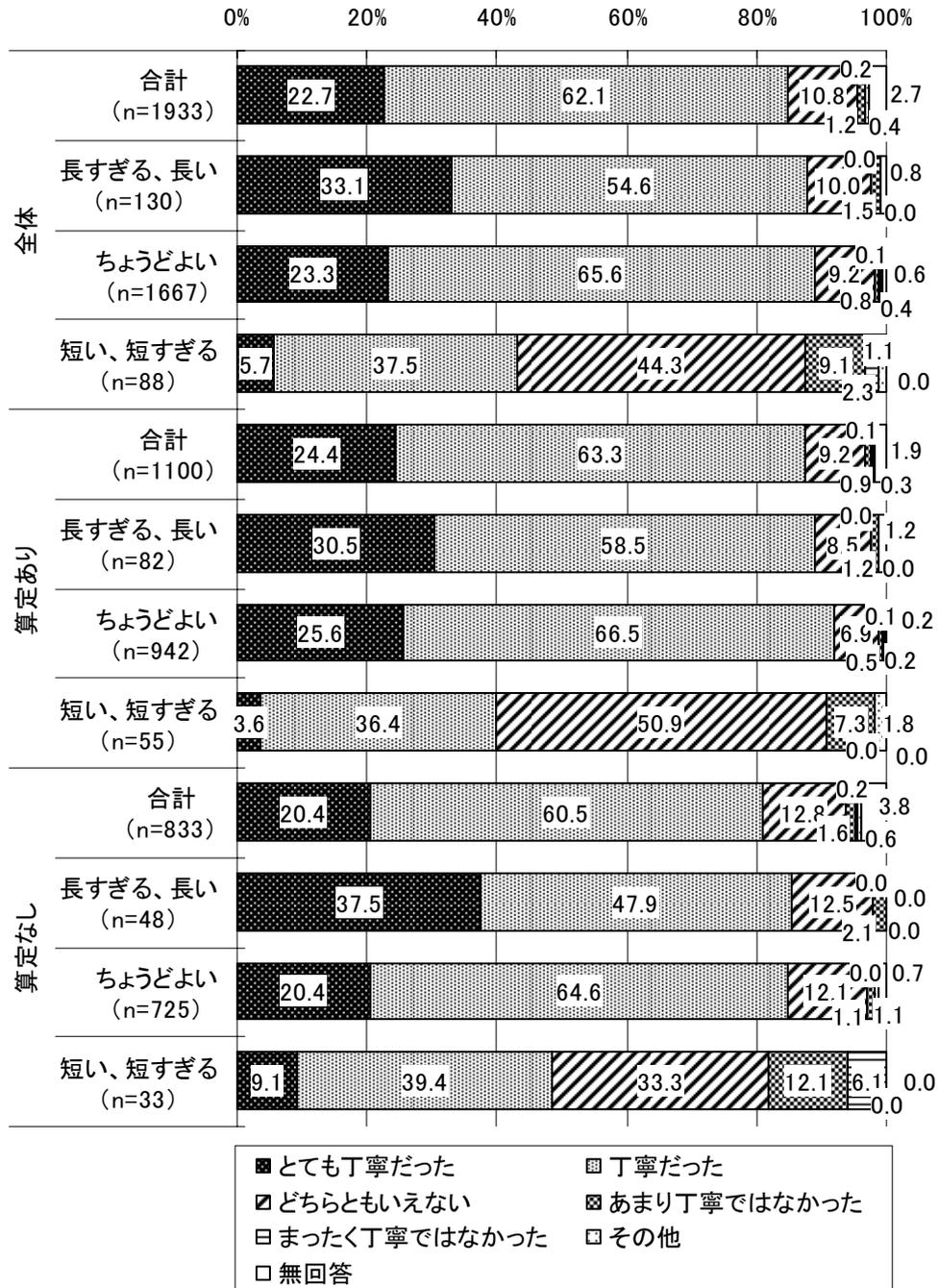


医師の説明内容の丁寧さについての評価をみると、全体では、「丁寧だった」(61.1%)が最も多く、「とても丁寧だった」(19.5%)と合わせると80.6%となった。

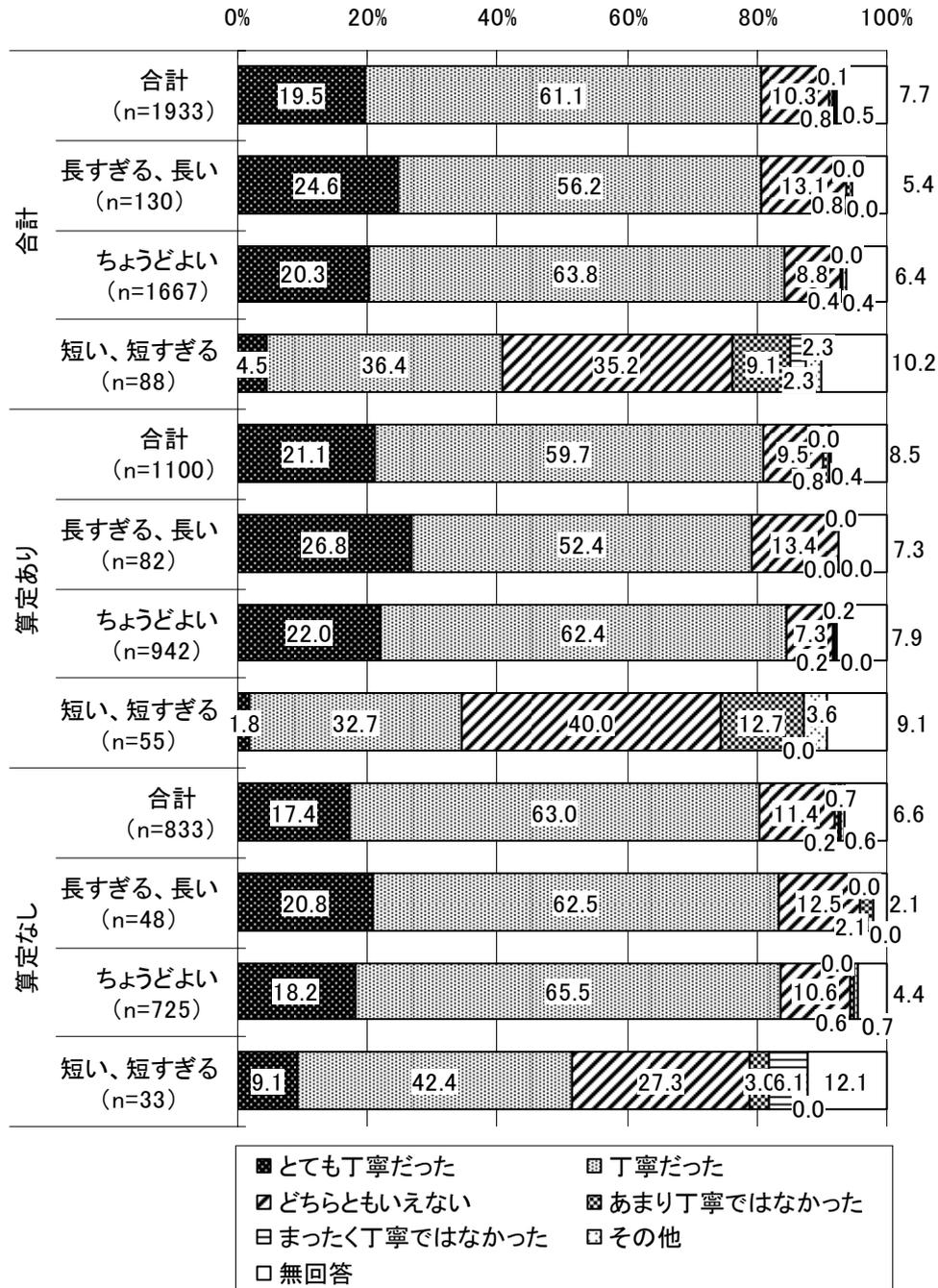
図表 88 医師の説明内容の丁寧さについての評価



図表 89 「診察時間の長さに対する評価」別「医師の問診や身体診察の丁寧さの評価」

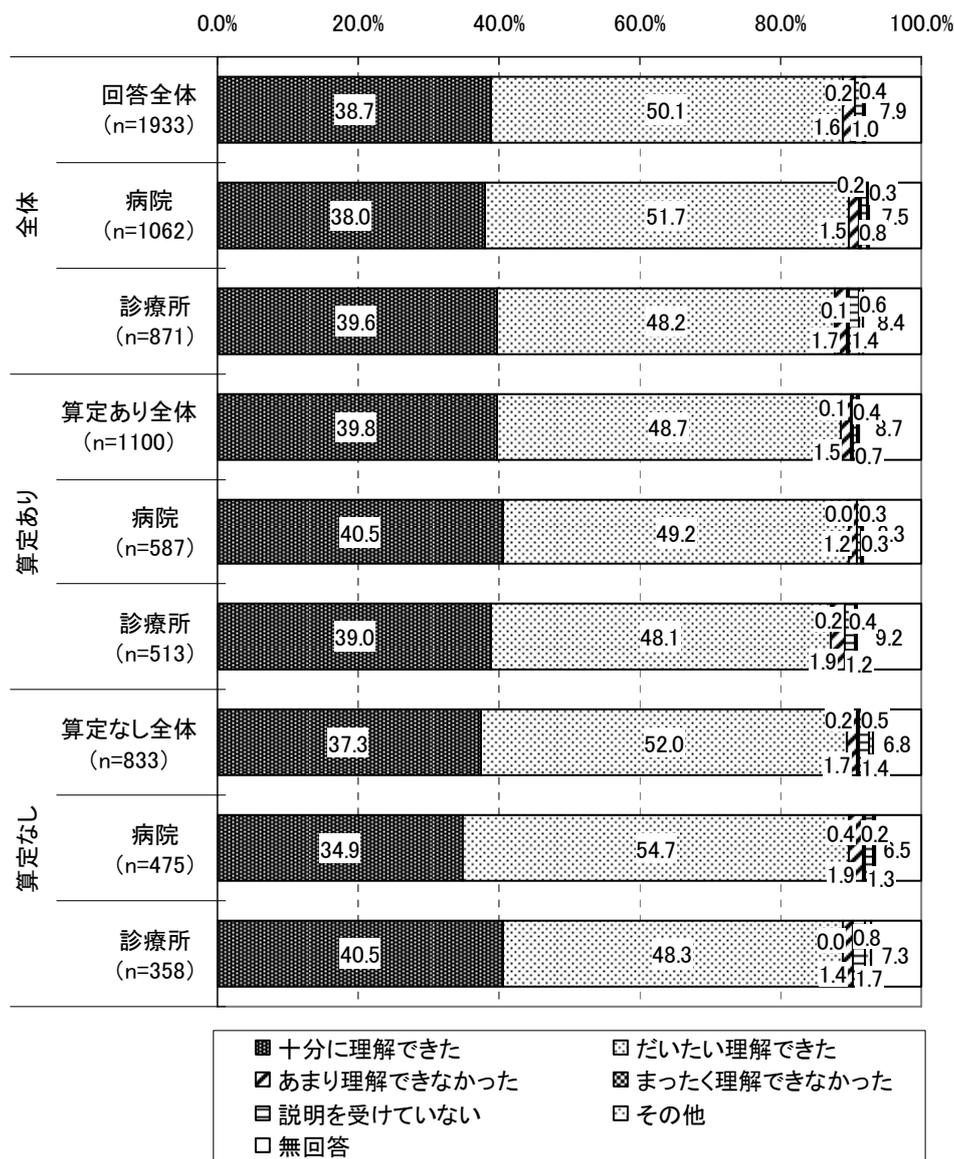


図表 90 「診察時間の長さに対する評価」別「医師の説明内容の丁寧さの評価」



医師の説明内容についての理解度をみると、全体では、「だいたい理解できた」(50.1%)が最も多く、「十分に理解できた」(38.7%)と合わせると88.8%で大多数を占めた。外来管理加算の「算定あり」の患者と「算定なし」の患者でも同様の傾向であった。

図表 91 医師の説明内容についての理解度

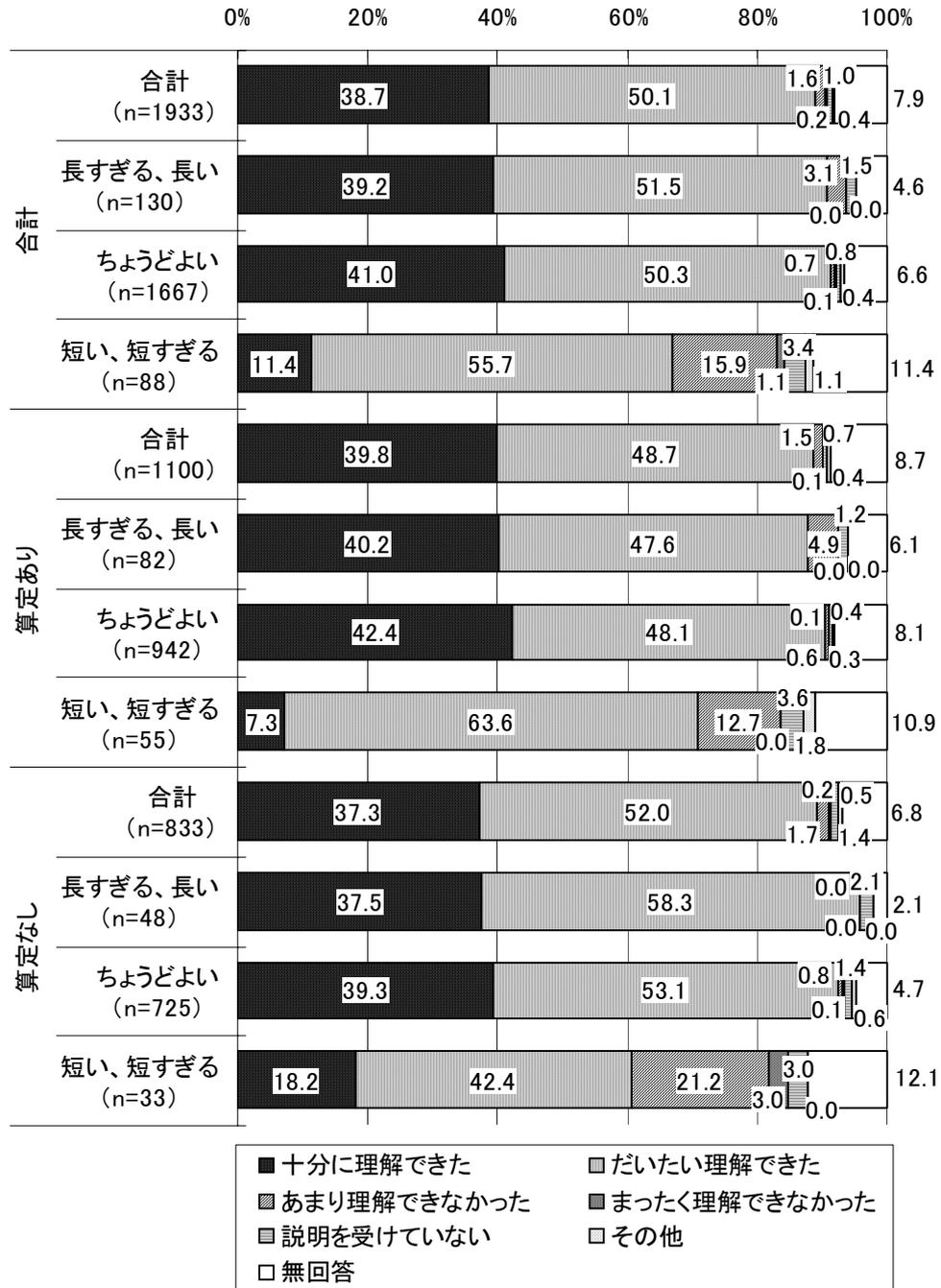


「診察時間の長さに対する評価」別に「医師の説明内容についての理解度」をみると、外来管理加算の「算定あり」の患者では、「長すぎる、長い」と回答した患者のうち「十分に理解できた」(40.2%)と「だいたい理解できた」(47.6%)を合わせると87.8%、「ちょうどよい」と回答した患者では90.5%、「短い、短すぎる」と回答した患者では70.9%であった。「短い、短すぎる」と回答した患者のうち12.7%が「あまり理解できなかった」と回答した。

外来管理加算の「算定なし」の患者では、「長すぎる、長い」と回答した患者のうち「十分に理解できた」(37.5%)と「だいたい理解できた」(58.3%)を合わせると95.8%、「ちょうどよい」と回答した患者では92.4%、「短い、短すぎる」と回答した患者では60.6%であった。「短い、短すぎる」と回答した患者のうち21.2%が「あまり理解できなかった」と回答した。

外来管理加算算定の有無別に「長すぎる、長い」と「ちょうどよい」と回答した患者の理解度を比較すると、「十分に理解できた」と「だいたい理解できた」を合わせた割合は、「算定あり」の患者より「算定なし」の患者の方が、それぞれ8.0ポイント、1.9ポイント高かった。同様に「短い、短すぎる」と回答した患者の「あまり理解できなかった」割合についてみると、「算定なし」の患者の方が「算定あり」の患者より8.5ポイント高かった。

図表 92 「診察時間の長さに対する評価」別「医師の説明内容についての理解度」

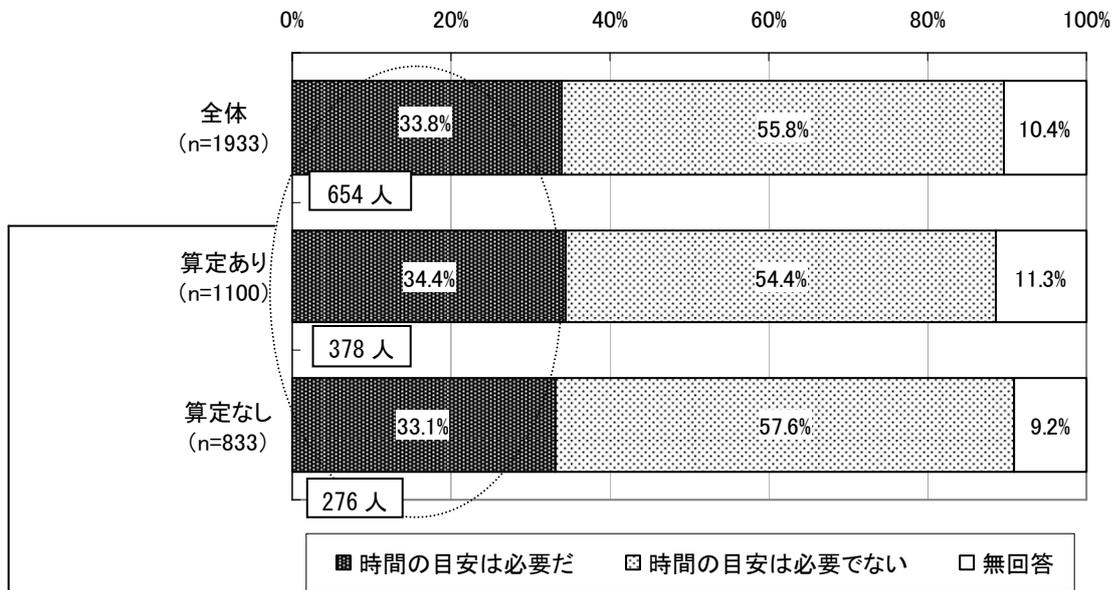


⑤外来管理加算の時間の目安についての考え

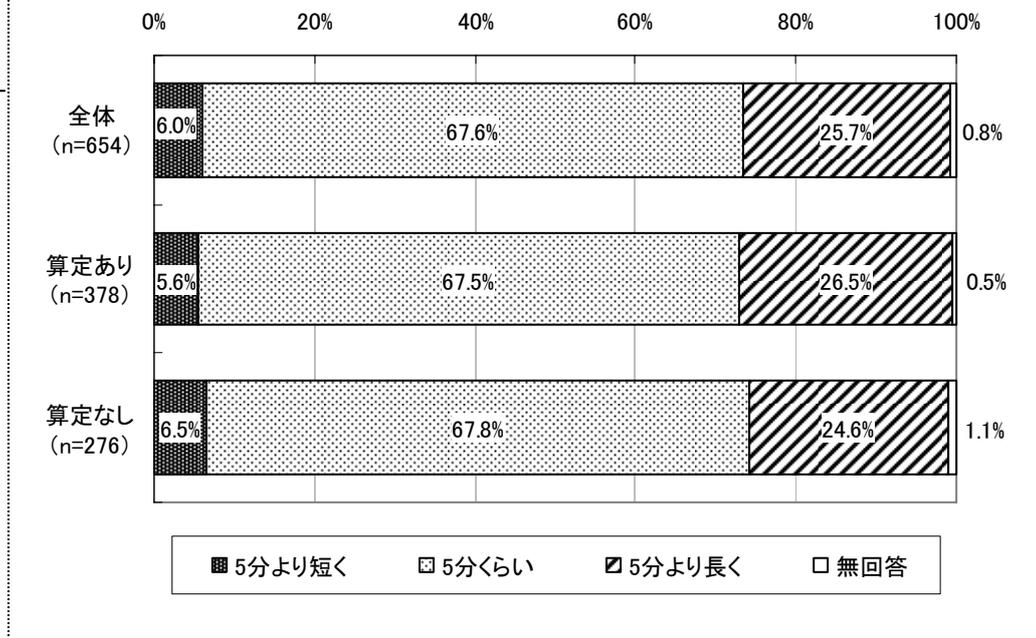
外来管理加算の時間の目安についての考えをみると、全体では、「時間の目安は必要でない」が55.8%で半数以上を占めた。一方、「時間の目安は必要だ」という回答は、33.8%であった。この傾向は、「算定あり」の患者と「算定なし」の患者でも同様であった。

次に、「時間の目安は必要だ」と回答した人における「時間の目安」についてみると、全体では「5分くらい」(67.6%)が最も多く、次いで「5分より長く」(25.7%)、「5分より短く」(6.0%)であった。この傾向は、「算定あり」の患者と「算定なし」の患者でも同様であった。

図表 93 外来管理加算の時間の目安についての考え



図表 94 時間の目安



「外来管理加算の時間の目安についての考え」別に平均診察時間をみると、「目安は必要だ」と回答した外来管理加算の「算定あり」の患者では平均 11.08 分、「算定なし」の患者では平均 8.68 分であった。「目安は必要ではない」と回答した外来管理加算の「算定あり」の患者では平均 10.04 分、「算定なし」の患者では平均 8.47 分であった。「算定あり」「算定なし」の患者ともに「目安は必要ではない」と回答した患者よりも「目安は必要だ」と回答した患者の平均診察時間の方がそれぞれ 1.04 分、0.21 分長かった。

図表 95 「外来管理加算の時間の目安についての考え」別平均診察時間

	全体		算定あり		算定なし	
	患者数	平均診察時間(分)	患者数	平均診察時間(分)	患者数	平均診察時間(分)
合計	1270	9.86	765	10.55	505	8.82
目安は必要だ	472	10.16	291	11.08	181	8.68
目安は必要ではない	671	9.38	389	10.04	282	8.47
無回答	127	11.27	85	11.01	42	11.79

次に、男女別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、男性・女性ともに「時間の目安は必要でない」という回答割合が「時間の目安は必要だ」という回答割合を上回った。また、男性と比較して、女性の方が「時間の目安は必要だ」という回答割合が相対的にみてやや高かった。

図表 96 男女別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933	654	1078	201
	100.0%	33.8%	55.8%	10.4%
男性	820	260	477	83
	100.0%	31.7%	58.2%	10.1%
女性	1112	393	601	118
	100.0%	35.3%	54.0%	10.6%

年齢階級別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、30代から70代までは年齢が高くなるほど「時間の目安は必要だ」という回答割合が高くなる傾向がみられた。しかし、いずれの年齢階級においても「時間の目安は必要でない」が「時間の目安は必要だ」という回答割合を上回り、特に20代から40代までは「時間の目安は必要でない」の回答割合が6割を上回る結果となった。

図表 97 年齢階級別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
20歳未満	50 100.0%	17 34.0%	29 58.0%	4 8.0%
20～29歳	99 100.0%	25 25.3%	67 67.7%	7 7.1%
30～39歳	226 100.0%	55 24.3%	159 70.4%	12 5.3%
40～49歳	231 100.0%	67 29.0%	150 64.9%	14 6.1%
50～59歳	351 100.0%	108 30.8%	208 59.3%	35 10.0%
60～69歳	397 100.0%	156 39.3%	182 45.8%	59 14.9%
70～79歳	411 100.0%	164 39.9%	199 48.4%	48 11.7%
80歳以上	159 100.0%	57 35.8%	81 50.9%	21 13.2%

患者が受診した診療科別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、サンプル数が少ないことに留意する必要があるものの、脳神経外科、眼科を受診した患者では、「時間の目安が必要だ」という回答割合が「時間の目安は必要でない」という回答割合を上回った。しかし、その他の診療科については、いずれも「時間の目安は必要でない」という回答割合が「時間の目安は必要だ」という回答割合を上回った。

図表 98 受診した診療科別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安 は必要だ	時間の目安 は必要で ない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
内科	1142 100.0%	362 31.7%	667 58.4%	113 9.9%
外科	87 100.0%	35 40.2%	46 52.9%	6 6.9%
整形外科	183 100.0%	63 34.4%	99 54.1%	21 11.5%
形成外科	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	0 0.0%
脳神経外科	36 100.0%	20 55.6%	14 38.9%	2 5.6%
小児科	49 100.0%	16 32.7%	30 61.2%	3 6.1%
産婦人科	58 100.0%	19 32.8%	32 55.2%	7 12.1%
呼吸器科	8 100.0%	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%
消化器科	28 100.0%	7 25.0%	18 64.3%	3 10.7%
循環器科	43 100.0%	12 27.9%	24 55.8%	7 16.3%
精神科	28 100.0%	11 39.3%	13 46.4%	4 14.3%
眼科	59 100.0%	27 45.8%	26 44.1%	6 10.2%
耳鼻咽喉科	34 100.0%	14 41.2%	19 55.9%	1 2.9%
泌尿器科	29 100.0%	12 41.4%	13 44.8%	4 13.8%
皮膚科	71 100.0%	21 29.6%	39 54.9%	11 15.5%
その他	60 100.0%	23 38.3%	27 45.0%	10 16.7%

傷病別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、サンプル数が少ないことに留意する必要があるものの、がんの患者では、「時間の目安は必要だ」という回答割合が「時間の目安は必要でない」という回答割合を上回った。また、白内障・緑内障の患者では、「時間の目安は必要でない」という回答割合の方が「時間の目安は必要だ」という回答割合よりも高かったが、全体や他の傷病と比較すると、「時間の目安は必要だ」という回答割合が相対的にみて高かった。一方、花粉症などのアレルギー疾患や皮膚炎・湿疹、高脂血症の患者では、「時間の目安は必要でない」の回答割合が6割を超えており、全体と比較しても相対的に高い結果となった。

図表 99 傷病別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
高血圧	562 100.0%	186 33.1%	311 55.3%	65 11.6%
糖尿病	190 100.0%	57 30.0%	113 59.5%	20 10.5%
高脂血症	145 100.0%	46 31.7%	88 60.7%	11 7.6%
風邪・気管支炎	236 100.0%	74 31.4%	141 59.7%	21 8.9%
ぜんそく	56 100.0%	21 37.5%	31 55.4%	4 7.1%
花粉症などのアレルギー疾患	64 100.0%	18 28.1%	42 65.6%	4 6.3%
皮膚炎・湿疹	71 100.0%	18 25.4%	44 62.0%	9 12.7%
腰痛・膝痛などの関節痛	236 100.0%	83 35.2%	133 56.4%	20 8.5%
がん	32 100.0%	16 50.0%	13 40.6%	3 9.4%
白内障・緑内障	43 100.0%	20 46.5%	21 48.8%	2 4.7%
その他	572 100.0%	203 35.5%	305 53.3%	64 11.2%

通院頻度別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、いずれの通院頻度においても「時間の目安は必要でない」の回答割合が「時間の目安は必要だ」の回答割合を上回った。

「時間の目安は必要だ」の回答割合が全体や他と比較して相対的に高かったのは、通院頻度が「2か月に1回程度」「初めて」の患者であり、全体と比較して4ポイント以上高い結果となった。一方、「時間の目安は必要でない」の回答割合が全体と比較して相対的に高かったのは、通院頻度が「年に数回程度」の患者であり、その割合は6割を超える結果となった。

図表 100 通院頻度別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
初めて	132 100.0%	50 37.9%	70 53.0%	12 9.1%
週に1回程度	211 100.0%	75 35.5%	119 56.4%	17 8.1%
2週間に1回程度	412 100.0%	152 36.9%	214 51.9%	46 11.2%
1か月に1回程度	742 100.0%	229 30.9%	433 58.4%	80 10.8%
2か月に1回程度	126 100.0%	48 38.1%	67 53.2%	11 8.7%
年に数回程度	173 100.0%	48 27.7%	106 61.3%	19 11.0%
その他	114 100.0%	41 36.0%	63 55.3%	10 8.8%

通院期間別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、「その他」を除くと、いずれの通院期間においても「時間の目安は必要でない」の回答割合が「時間の目安は必要だ」の回答割合を上回った。

「時間の目安は必要だ」の回答割合が全体と比較して相対的に高かったのは、通院期間が「1か月以上～3か月未満」「1年以上」の患者であった。一方、「時間の目安は必要でない」の回答割合が全体と比較して相対的に高かったのは、通院期間が「1か月未満」「6か月以上～1年未満」の患者であり、その割合は6割を超える結果となった。

図表 101 通院期間別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
初めて	157 100.0%	48 30.6%	92 58.6%	17 10.8%
1か月未満	120 100.0%	38 31.7%	75 62.5%	7 5.8%
1か月以上～3か月未満	116 100.0%	45 38.8%	62 53.4%	9 7.8%
3か月以上～6か月未満	113 100.0%	36 31.9%	65 57.5%	12 10.6%
6か月以上～1年未満	234 100.0%	70 29.9%	146 62.4%	18 7.7%
1年以上	1142 100.0%	398 34.9%	613 53.7%	131 11.5%
わからない	33 100.0%	10 30.3%	18 54.5%	5 15.2%
その他	10 100.0%	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%

診察内容に対する満足度別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」について、「不満である」「とても不満である」はサンプル数が少ないため、「とても満足している」「満足している」「どちらともいえない」に限定してみると、診察内容に対する満足度が高いほど「時間の目安は必要でない」の回答割合がやや高くなる傾向がみられた。

図表 102 診察内容に対する満足度別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
とても満足している	419 100.0%	141 33.7%	248 59.2%	30 7.2%
満足している	1233 100.0%	412 33.4%	690 56.0%	131 10.6%
どちらともいえない	222 100.0%	80 36.0%	119 53.6%	23 10.4%
不満である	6 100.0%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%
とても不満である	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%

診察時間に対する評価別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、診察時間が「短い」と回答した患者では「時間の目安は必要だ」という回答割合が、全体や他と比較して、相対的に高かった。一方、サンプル数が少ない点に留意することが必要であるが、診察時間が「長すぎる」「長い」と回答した患者では「時間の目安は必要でない」という回答割合が7割を超え、相対的にみても高い結果となった。

図表 103 診察時間に対する評価別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
長すぎる	29 100.0%	2 6.9%	26 89.7%	1 3.4%
長い	101 100.0%	15 14.9%	77 76.2%	9 8.9%
ちょうどよい	1667 100.0%	585 35.1%	920 55.2%	162 9.7%
短い	80 100.0%	33 41.3%	35 43.8%	12 15.0%
短すぎる	8 100.0%	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%

問診や身体診察の丁寧さに対する評価別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」について、「あまり丁寧ではなかった」「まったく丁寧ではなかった」はサンプル数が少ないため、「とても丁寧だった」「丁寧だった」「どちらともいえない」に限定してみると、評価が高いほど「時間の目安は必要だ」の回答割合が高くなる傾向がみられたが、その差異はわずかであった。一方、「時間の目安は必要でない」という回答割合をみると、問診や身体診察の丁寧さに対する評価との関係はみられなかった。

図表 104 問診や身体診察の丁寧さに対する評価別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
とても丁寧だった	438 100.0%	151 34.5%	249 56.8%	38 8.7%
丁寧だった	1200 100.0%	402 33.5%	678 56.5%	120 10.0%
どちらともいえない	208 100.0%	66 31.7%	120 57.7%	22 10.6%
あまり丁寧ではなかった	23 100.0%	11 47.8%	10 43.5%	2 8.7%
まったく丁寧ではなかった	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
その他	8 100.0%	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%

説明内容の丁寧さに対する評価別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、サンプル数が少ないことに留意する必要があるものの、説明内容が「あまり丁寧ではなかった」「まったく丁寧ではなかった」と回答した患者では「時間の目安は必要だ」という回答割合が全体や他の回答と比較して相対的に高かった。

図表 105 説明内容の丁寧さに対する評価別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安は必要だ	時間の目安は必要でない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
とても丁寧だった	438 100.0%	151 34.5%	249 56.8%	38 8.7%
丁寧だった	1200 100.0%	402 33.5%	678 56.5%	120 10.0%
どちらともいえない	208 100.0%	66 31.7%	120 57.7%	22 10.6%
あまり丁寧ではなかった	23 100.0%	11 47.8%	10 43.5%	2 8.7%
まったく丁寧ではなかった	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
その他	8 100.0%	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%

説明内容に対する理解度別に「外来管理加算の時間の目安についての考え」をみると、サンプル数が少ないことに留意する必要があるものの、「あまり理解できなかった」と回答した患者では、「時間の目安は必要でない」という回答割合が67.7%となり、全体や他と比較して相対的に高かった。

図表 106 説明内容に対する理解度別 外来管理加算の時間の目安についての考え

	総数	時間の目安 は必要だ	時間の目安 は必要で ない	無回答
全体	1933 100.0%	654 33.8%	1078 55.8%	201 10.4%
十分に理解できた	749 100.0%	291 38.9%	432 57.7%	26 3.5%
だいたい理解できた	969 100.0%	328 33.8%	604 62.3%	37 3.8%
あまり理解できな かった	31 100.0%	9 29.0%	21 67.7%	1 3.2%
まったく理解できな かった	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
説明を受けていない	20 100.0%	8 40.0%	9 45.0%	3 15.0%
その他	8 100.0%	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%

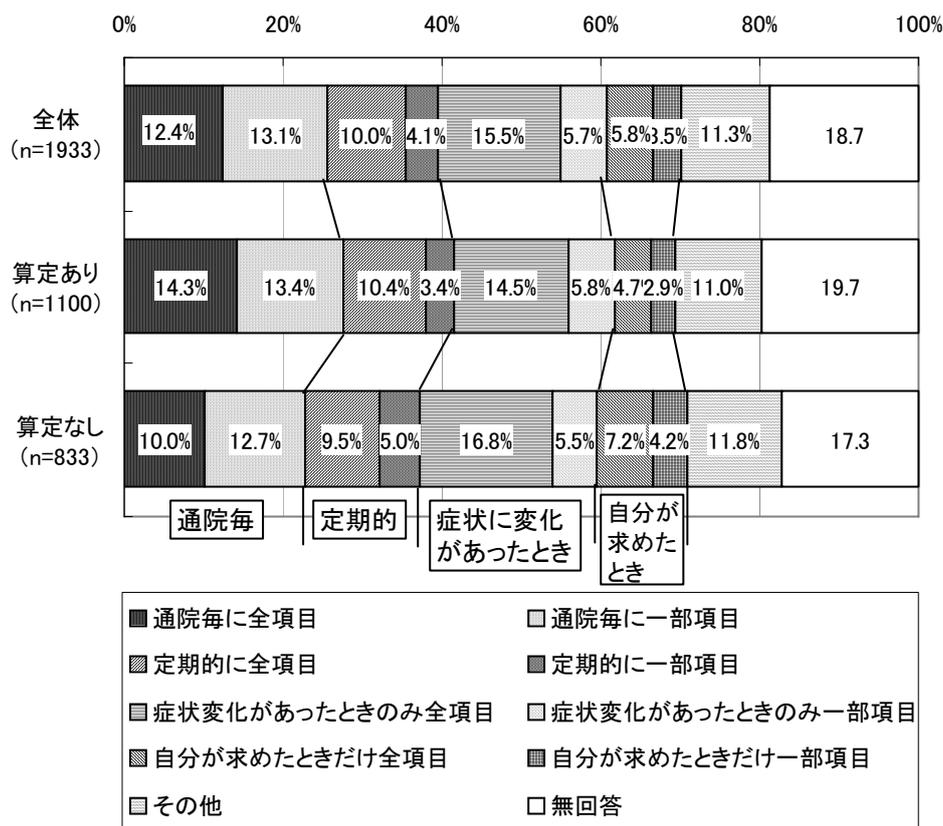
「懇切丁寧な説明」についての要望をみると、全体では、「症状に変化があったときのみ全項目」(15.5%)が最も多く、次いで「通院毎に一部項目」(13.1%)、「通院毎に全項目」(12.4%)、「定期的に全項目」(10.0%)となった。

外来管理加算算定の有無別にみると、「算定あり」の患者では、「症状に変化があったときのみ全項目」(14.5%)が最も多く、次いで「通院毎に全項目」(14.3%)、「通院毎に一部項目」(13.4%)であった。

「算定なし」の患者では、「症状に変化があったときのみ全項目」(16.8%)が最も多く、次いで「通院毎に一部項目」(12.7%)、「通院毎に全項目」(10.0%)であった。

全項目と一部項目を合わせた「懇切丁寧な説明」についての要望を外来管理加算算定の有無別に比べると、「算定あり」の患者では「通院毎」の割合が「算定なし」の患者よりも高く、「算定なし」の患者では「症状に変化があったとき」と「自分が求めたとき」の割合が「算定あり」の患者より高かった。

図表 107 「懇切丁寧な説明」についての要望



(注)「その他」の内容として、「医師の判断に任せている」等の回答があげられた。

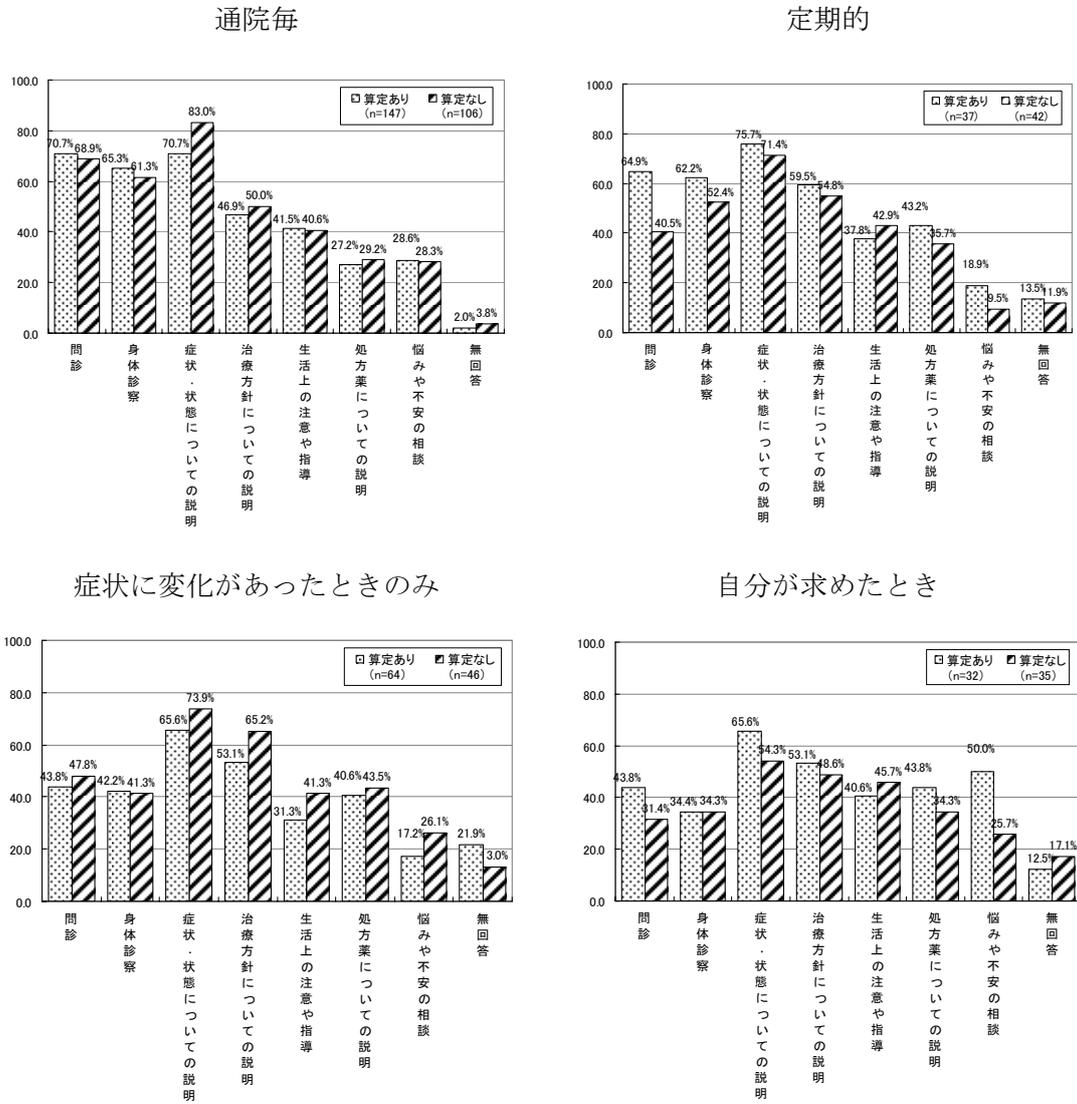
「実施してほしい一部項目の内容」について外来管理加算の算定の有無別にみると、「通院毎」では、「症状・状態についての説明」（それぞれ 70.7%、83.0%）が最も多く、「算定あり」の患者と比較して「算定なし」の患者の方が回答割合が高かった。

「定期的」についてみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「症状・状態についての説明」（それぞれ 75.7%、71.4%）が最も多かった。次いで、「算定あり」の患者では「問診」（64.9%）、「身体診察」（62.2%）と続き、「算定なし」の患者では「治療方針についての説明」（54.8%）、「身体診察」（52.4%）、「生活上の注意や指導」（42.9%）が続いた。

「病状に変化があったときのみ」についてみると、「算定あり」の患者、「算定なし」の患者ともに「症状・状態についての説明」（それぞれ 65.6%、73.9%）が最も多く、次いで「治療方針についての説明」（それぞれ 53.1%、65.2%）であり、「算定あり」の患者と「算定なし」の患者とを比較すると、「算定なし」の患者の方がこの割合が高かった。

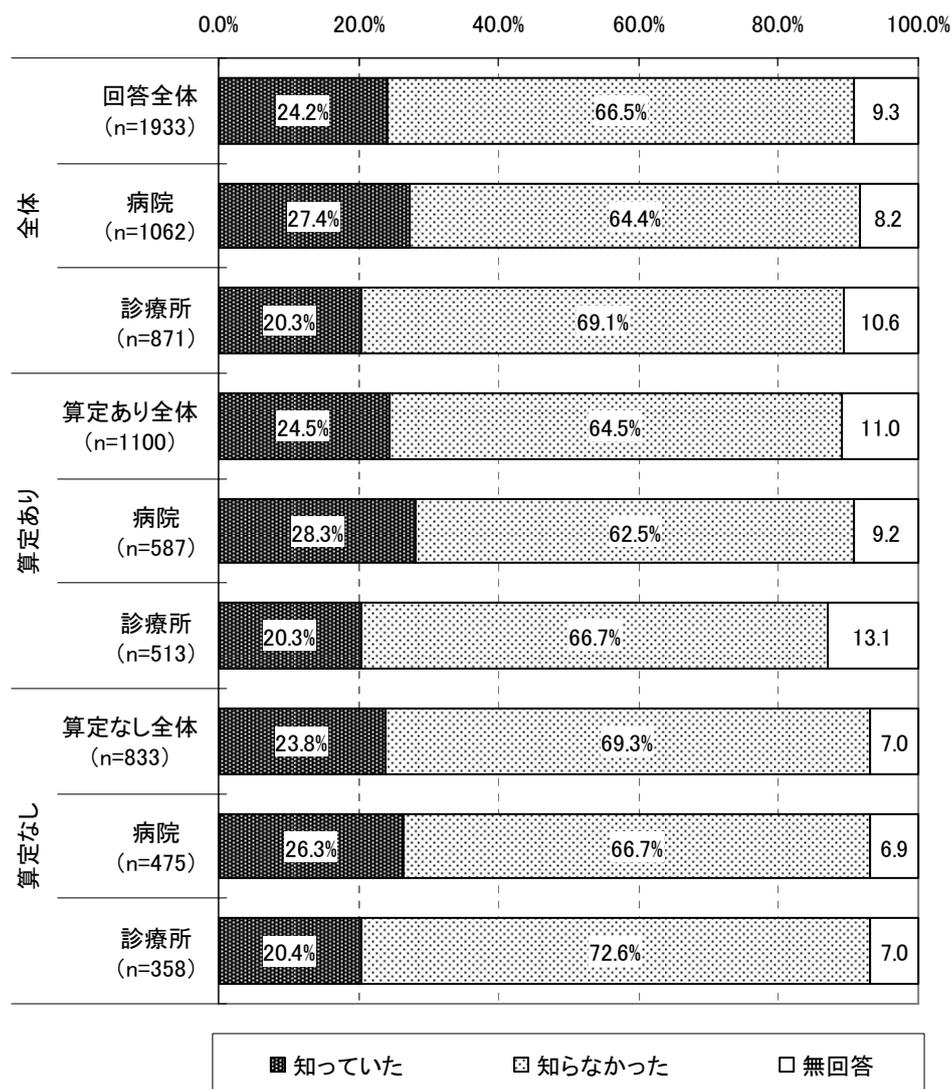
「自分が求めたとき」についてみると、「算定あり」の患者では、「症状・状態についての説明」（65.6%）が最も多く、次いで「治療方針についての説明」（53.1%）、「悩みや不安の相談」（50.0%）であった。「算定なし」の患者では、「症状・状態についての説明」（54.3%）が最も多く、次いで「治療方針についての説明」（48.6%）、「生活上の注意や指導」（45.7%）であった。

図表 108 実施してほしい一部項目の内容



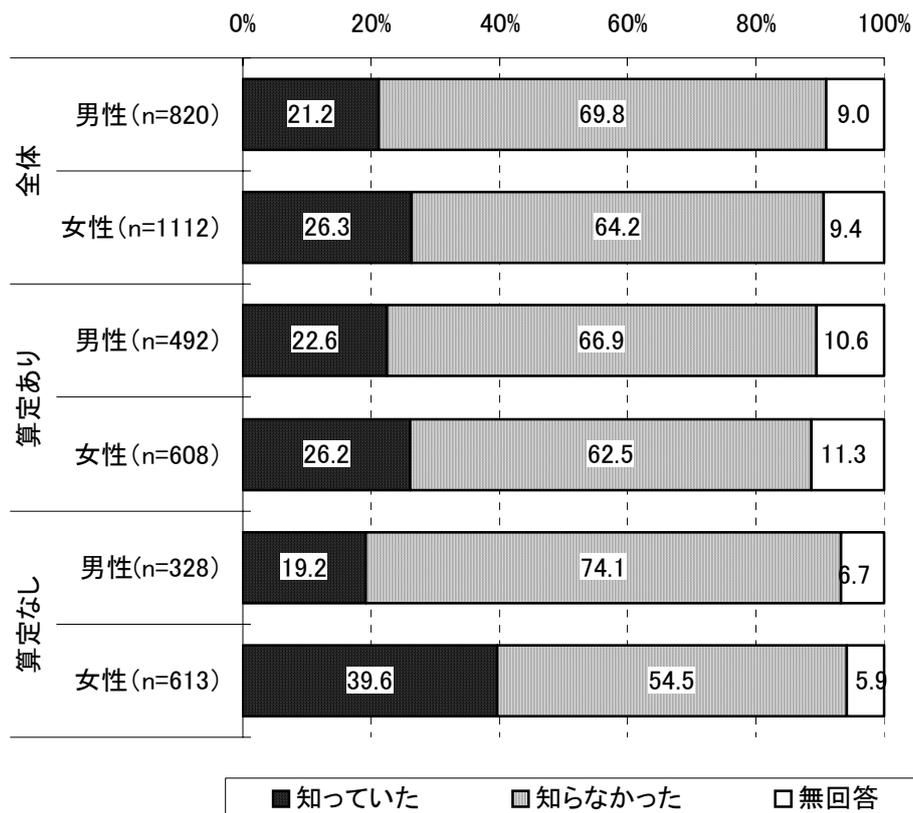
外来管理加算の認知度についてみると、全体では、「知っていた」が 24.2%、「知らなかった」が 66.5%であり、6 割以上の方が「知らなかった」と回答した。これは、外来管理加算の「算定あり」の患者と「算定なし」の患者でも同様の傾向であった。

図表 109 外来管理加算の認知度



外来管理加算の認知度を男女別にみると、全体では、「知っていた」と回答した患者は、男性が 21.2%、女性が 26.3%であった。同様に、「算定あり」「算定なし」の患者ともに女の方が男性よりも認知度が高く、「算定なし」の女性の認知度が 39.6%で最も高かった。

図表 110 算定別・男女別における外来管理加算の認知度

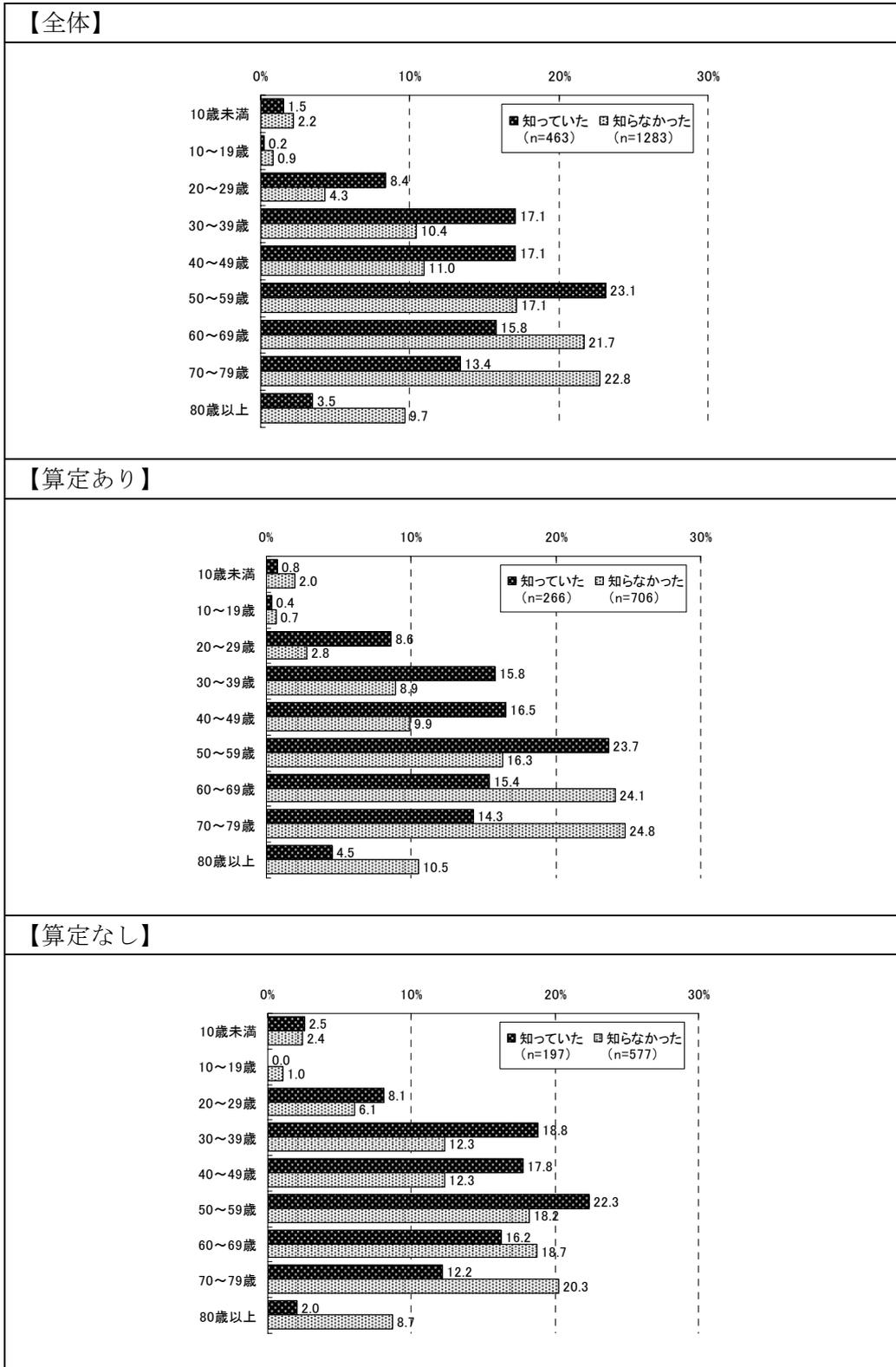


外来管理加算算定の有無別に、外来管理加算の認知状況別の患者の年齢構成をみると、「算定あり」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「50～59歳」（23.7%）で最も多く、次いで「40～49歳」（16.5%）、「30～39歳」（15.8%）であった。一方、「算定あり」で外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「70～79歳」（24.8%）が最も多く、次いで「60～69歳」（24.1%）、「50～59歳」（16.3%）であった。

また、「算定なし」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「50～59歳」（22.3%）が最も多く、次いで「30～39歳」（18.8%）、「40～49歳」（17.8%）であった。一方、「算定なし」で「知らなかった」と回答した患者では、「70～79歳」（20.3%）が最も多く、次いで、「60～69歳」（18.7%）、「50～59歳」（18.2%）であった。

「算定あり」「算定なし」の患者ともに、外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者は相対的に年齢層が高かった。

図表 111 外来管理加算算定の有無別、外来管理加算の認知状況別患者の年齢階級別構成割合

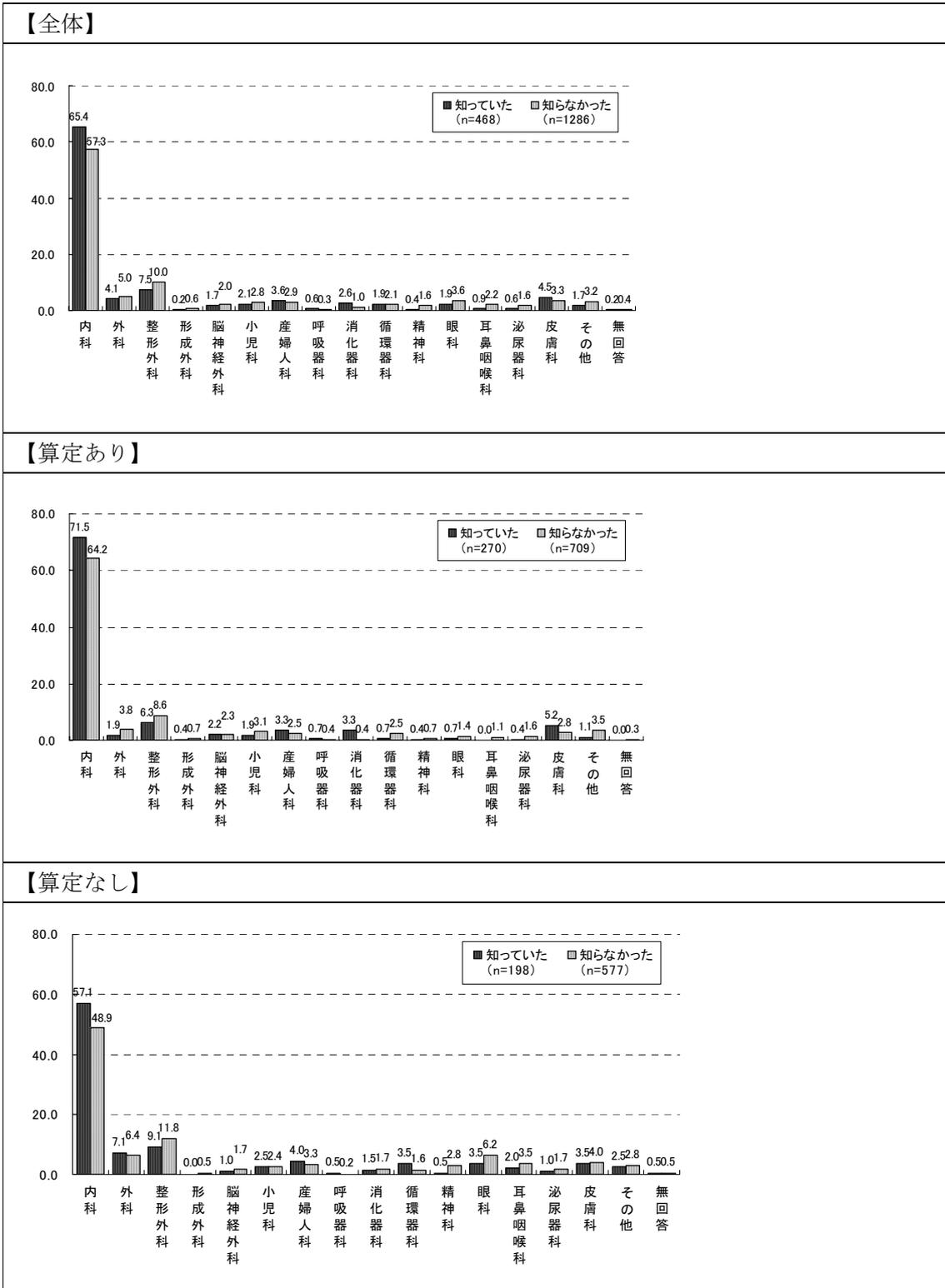


外来管理加算の認知状況別に受診した診療科の構成割合をみると、全体においては、外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「内科」(65.4%)が最も多く、次いで「整形外科」(7.5%)、「皮膚科」(4.5%)、「外科」(4.1%)であった。外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「内科」(57.3%)が最も多く、次いで「整形外科」(10.0%)、「外科」(5.0%)であった。

外来管理加算の「算定あり」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「内科」(71.5%)が最も多く、次いで「整形外科」(6.3%)、「皮膚科」(5.2%)、「消化器科」「産婦人科」(いずれも 3.3%)であった。同様に外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「内科」(64.2%)が最も多く、次いで「整形外科」(8.6%)、「外科」(3.8%)であった。

外来管理加算の「算定なし」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「内科」(57.1%)が最も多く、次いで「整形外科」(9.1%)、「外科」(7.1%)、「産婦人科」(4.0%)であった。同様に外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「内科」(48.9%)が最も多く、次いで「整形外科」(11.8%)、「外科」(6.4%)、「眼科」(6.2%)であった。

図表 112 外来管理加算の認知度別受診した診療科



外来管理加算の認知度別に傷病の構成割合をみると、全体では、外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「高血圧」(25.3%)が最も多く、次いで「風邪、気管支炎」(15.3%)、「高脂血症」(9.8%)、「腰痛、膝痛などの関節痛」(9.4%)、「糖尿病」(6.8%)であった。

外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「高血圧」(30.2%)が最も多く、「腰痛、膝痛などの関節痛」(13.6%)、「風邪・気管支炎」(11.5%)、「糖尿病」(10.7%)であった。

外来管理加算の「算定あり」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「高血圧」(29.4%)が最も多く、次いで「風邪、気管支炎」(15.1%)、「高脂血症」(12.1%)であった。外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「高血圧」(36.6%)が最も多く、次いで「糖尿病」(13.5%)、「風邪、気管支炎」(11.2%)であった。

外来管理加算の「算定なし」で外来管理加算を「知っていた」と回答した患者では、「高血圧」(19.6%)が最も多く、次いで「風邪、気管支炎」(15.5%)、「腰痛、膝痛などの関節痛」(10.8%)、「花粉症などのアレルギー疾患」(7.7%)であった。外来管理加算を「知らなかった」と回答した患者では、「高血圧」(22.3%)が最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの関節痛」(17.1%)、「風邪・気管支炎」(11.9%)、「糖尿病」(7.2%)であった。